

時津町橋梁長寿命化修繕計画 (第3期)

令和7年3月



時津町 建設部 都市整備課

目 次

- 1. 橋梁長寿命化修繕計画の背景と目的 1
- 2. 管理橋梁の現状 2
- 3. 橋梁長寿命化修繕計画 7

1. 橋梁長寿命化修繕計画の背景と目的

1-1. 背景

時津町が管理する橋梁は、全 87 橋（橋長 15m 以上：9 橋、橋長 15m 未満：78 橋）であり、その内、架設年次が明らかなでない橋梁が 45 橋（52%）存在します。

西彼杵半島の最南端に位置し、大村湾に面していることもあり、厳しい自然環境にある橋梁や湾岸区域の埋立地区に位置するボックスカルバートも位置しています。

そのような状況も踏まえ、今後急速に高齢化が進む管理橋梁に対して、従来の事後保全型の維持管理を継続した場合、維持管理コストが膨大となり、厳しい予算制約の中で安全性・信頼性の確保のための適切な維持管理を続けることが困難となることが懸念されます。

1-2. 目的

今後高齢化する道路橋の急速な増大に対応するため、従来の事後保全型の修繕および架替えから予防的保全型の修繕および長寿命化修繕計画に基づく架替えへと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕・架替えに係わるライフサイクルコストの縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的として修繕計画を策定します。

※1：事後保全：変状が顕著になってから対策を行う維持管理方法

※2：予防保全：変状が顕著になる前に対策を行う維持管理方法

※3：ライフサイクルコスト：構造物の使用期間中に係る建設費・管理費・維持補修費・取壊し費等のコストの総額

1-3. 計画の策定

時津町では平成 21 年度から平成 26 年度までに橋梁長寿命化修繕計画を策定しており、平成 24 年度及び平成 27 年度に計画の更新を行っています。

1 期目の長寿命化修繕計画が完了したため、令和元年度に 2 期目の長寿命化計画を策定し、令和 4 年度に計画の更新を行っています。

本計画では、これまでの計画及び平成 26 年に施行された省令・告示により点検頻度や診断区分が定められたことを踏まえ、橋梁長寿命化修繕計画の更新を行います。

また、令和 5 年 3 月の道路メンテナンス事業補助制度要綱の改正においては、新技術の活用を促進するとともに、維持管理コストの縮減を図る必要があるとして、『事業の実施にあたっては新技術等の活用の検討を行い、費用の縮減や事業の効率化に取り組むこと。』と明記されていることを踏まえ、「集約化・撤去」、「新技術活用」、「費用縮減」に関する事項をとりまとめた計画とします。

2. 管理橋梁の現状

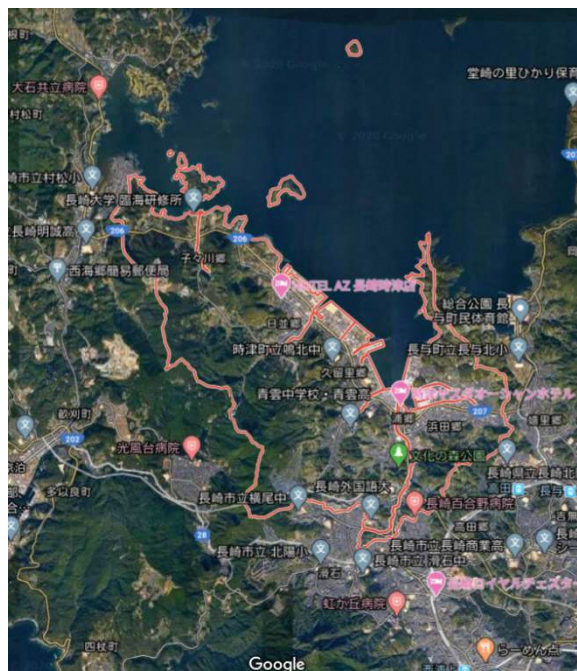
2-1. 環境条件

時津町は、西彼杵半島の付け根に位置しており、南部から西部にかけては長崎市、東部は長与町と接し、北部は大村湾に面する町です。

町の西部は標高 200～400m級の山々が連なる山地ですが、東部は平野地形であり、住宅地・商業用地が広がっています。

北部に位置する橋梁については、飛来塩分や直接的な塩分の影響等を受ける環境下に位置する橋梁も多い状況で、塩害を受けやすい環境条件となっています。

厳しい環境条件の橋梁や第三者への影響が大きい橋梁を有するため、事後保全的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図るためにも、計画的に維持管理を行っていく必要があります。

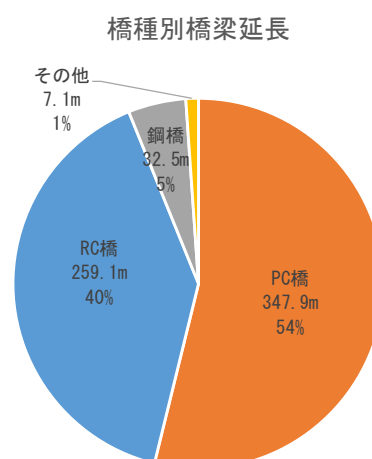
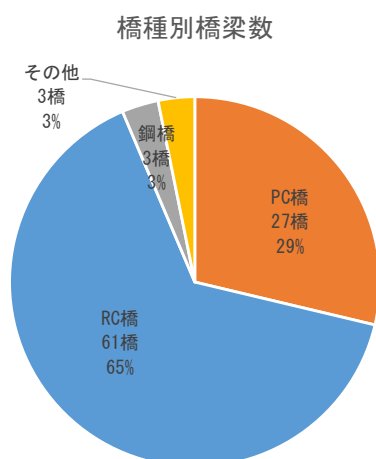


2-2. 管理橋梁の内訳

(1) 橋種別内訳

時津町が管理する全 87 橋の橋種別内訳は以下の通りです。

なお、ここでの橋梁数は構造形式によって区分しているため、全 94 橋として計上しています。



	橋梁数	延長
PC 橋	27 橋	347.9m
RC 橋	61 橋	259.1m
鋼橋	3 橋	32.5m
その他	3 橋	7.1m
合 計	94 橋	646.6m

(2) 管理橋梁一覧

時津町が管理している橋梁は以下に示す 87 橋です。

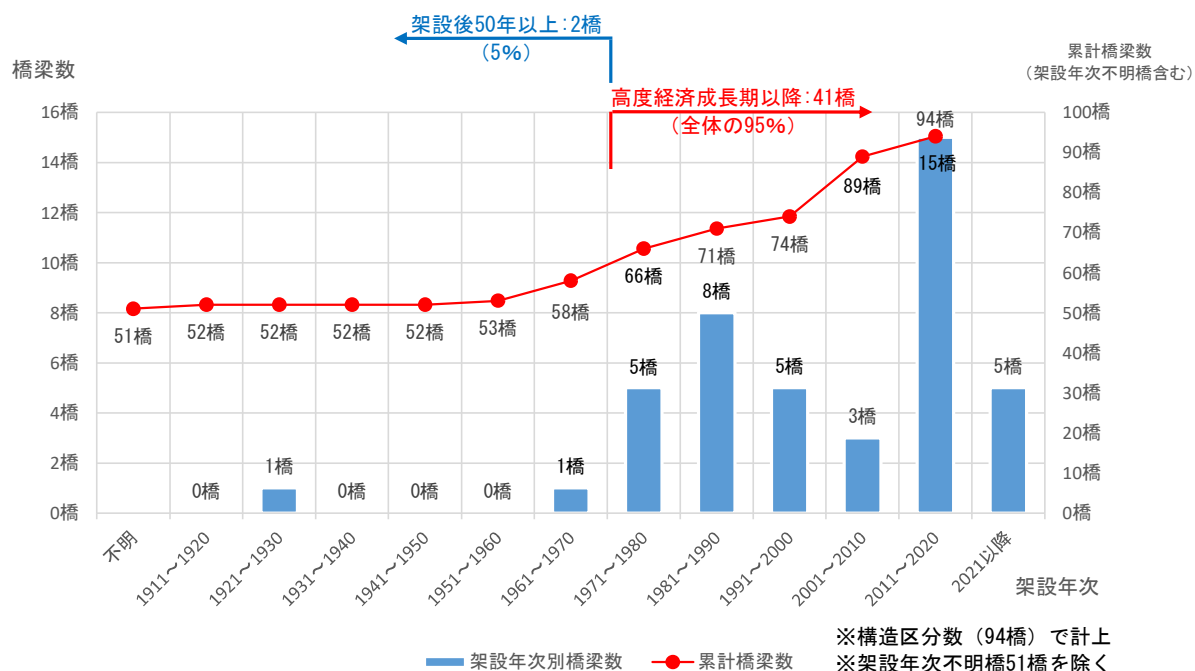
なお、ここでの橋梁数は構造形式によって区分しているため、全 94 橋として計上しています。

	橋梁コード	橋梁名	路線名	架設年次	橋長 (m)	幅員 (m)	使用材料	構造形式	所在地
1	10001-00	左底橋	左底久留里線	1928	18.3	4.9	R C 橋	T 桁	西彼杵郡時津町左底郷
2	10002-00	時津橋	時津港線	2000	29.3	9.0	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町浦郷
3	10003-00	新地橋	中央8号線	2003	23.8	9.0	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町浦郷
4	10004-00	丸田橋	西時津左底1号線	1994	17.7	17.8	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町元村郷
5	10005-00	打坂橋	井手園線	1986	21.9	7.2	鋼溶接橋	1 桁 (不明)	西彼杵郡時津町元村郷
6	10006-00	長崎学院橋	長崎学院線	1996	20.0	9.0	P C 橋	ブレン T 桁	西彼杵郡時津町元村郷
7	10007-00	長坂橋	元村団地線	2019	16.2	8.5	P C 橋	ボスデン中空床版	西彼杵郡時津町元村郷
8	10008-00	山徳橋	元栗線	2019	16.6	7.5	P C 橋	ボスデン中空床版	西彼杵郡時津町元村郷
9	10009-00	日並2号跨道橋	栗山線	2024	48.7	4.0	P C 橋	斜材付 Ⅱ 型ラーメン橋	西彼杵郡時津町日並郷
10	20001-00	南川橋	行足線	1961	9.9	8.1	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町元村郷
11	20002-00	水道橋	中沢原線	2025 (予定)	16.6	8.2	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町元村郷
12	20003-00	とこえはし	茶屋の本線	2023	22.2	6.8	P C 橋	ボスデン中空床版	西彼杵郡時津町元村郷
13	20004-00	平床橋	平床線	不明	5.8	4.6	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町日並郷
14	20005-00	入舟橋	塩浜線	1978	10.2	16.9	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町浜田郷
15	20006-00	田下橋	塩浜線	1978	8.5	13.0	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町浜田郷
16	20009-00	紺屋平橋 (上流側)	浜田西時津線	不明	3.4	6.4	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町西時津郷
17	20009-01	紺屋平橋 (下流側)	浜田西時津線	不明	2.5	5.7	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町西時津郷
18	20009-02	紺屋平橋 (中流部)	浜田西時津線	不明	3.4	6.4	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町西時津郷
19	20010-00	大谷橋	似田の多尾線	不明	5.0	3.0	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町子々川郷
20	20011-00	岳本橋	角杭田線	不明	3.5	3.4	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町子々川郷
21	20012-00	片峰橋	片峰線	不明	3.1	4.2	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
22	20013-00	洞平橋	第2栗山線	不明	2.6	3.3	石橋	石 (レンガ) 橋	西彼杵郡時津町日並郷
23	20014-00	栗平橋	栗平線	不明	4.2	3.1	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町日並郷
24	20015-00	岩本橋	第2岩本線	不明	4.7	9.0	P C 橋	ブレン床版	西彼杵郡時津町久留里郷
25	20016-00	久留里橋 (上流側)	久留里線	不明	2.2	3.4	石橋	石 (レンガ) 橋	西彼杵郡時津町久留里郷
26	20016-01	久留里橋 (下流側)	久留里線	不明	2.2	1.2	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町久留里郷
27	20017-00	第2中通橋	鍋倉線	1987	7.5	3.5	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町左底郷
28	20018-00	青雲橋	青雲線	1976	10.4	6.9	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町左底郷
29	20019-00	平原橋	風林坊線	不明	4.0	4.0	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町左底郷
30	20020-00	中野田橋 (緑橋)	第2野田線	1986	4.8	10.5	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町野田郷
31	20021-00	川中橋	六田線	不明	4.2	6.3	P C 橋	ブレン床版	西彼杵郡時津町野田郷
32	20022-00	六田橋	六田線	不明	4.4	5.2	P C 橋	ブレン床版	西彼杵郡時津町野田郷
33	20024-00	池田橋 (車道部)	打坂線	不明	5.0	4.3	鋼溶接橋	1 桁 (不明)	西彼杵郡時津町元村郷
34	20024-01	池田橋 (歩道部)	打坂線	不明	5.0	1.0	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町元村郷
35	20025-00	長泰寺橋	田下線	不明	3.3	4.4	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町西時津郷
36	20026-00	てわたし橋	左底横尾線	1985	12.2	16.0	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町左底郷
37	20027-00	第2宮園橋	左底横尾線	不明	2.5	3.5	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町左底郷
38	20028-00	清水泊橋	左底横尾線	不明	3.6	4.0	R C 橋	T 桁	西彼杵郡時津町左底郷
39	20029-00	西光菫橋 (上流側)	西光菫線	不明	5.6	0.6	鋼溶接橋	1 桁 (不明)	西彼杵郡時津町子々川郷
40	20029-01	西光菫橋 (下流側)	西光菫線	不明	3.9	2.8	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町子々川郷
41	20030-00	辻山橋	大しげ線	不明	4.0	3.0	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町日並郷
42	20031-00	第2久留里橋	新開岩本線	1978	13.0	4.7	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町久留里郷
43	20032-00	十工区5号橋	十工区海岸線	2009	5.0	29.2	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
44	20033-00	十工区6号橋	十工区海岸線	2009	3.5	28.1	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
45	20034-00	中山橋	子々川日並線	不明	2.3	12.5	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町子々川郷
46	20035-00	植渡橋	左底横尾線	不明	5.8	4.8	R C 橋	その他	西彼杵郡時津町左底郷
47	20036-00	宮園橋	左底横尾線	不明	2.7	12.8	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町左底郷
48	20037-00	眉山橋	道木線	不明	7.1	9.2	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町日並郷
49	20038-00	清水橋	冬切線	不明	3.4	7.6	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町浜田郷
50	20039-00	角杭田橋	登路福線	不明	3.7	4.3	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町子々川郷
51	20040-00	子々川橋	広田線	不明	9.0	4.0	P C 橋	ブレン床版	西彼杵郡時津町子々川郷
52	20041-00	飯盛平橋	中山ダム線	不明	2.6	5.6	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町子々川郷
53	20042-00	八工区2号橋	八工区線	不明	6.5	18.1	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町久留里郷
54	20043-00	八工区3号橋	八工区8号支線	不明	6.5	10.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町久留里郷
55	20044-00	八工区4号橋	八工区8号支線	不明	1.9	6.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
56	20045-00	合婦橋 (上流側)	合婦線	不明	2.3	3.4	石橋	石 (レンガ) 橋	西彼杵郡時津町久留里郷
57	20045-01	合婦橋 (下流側)	合婦線	不明	3.8	4.4	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町久留里郷
58	20046-00	八工区1号橋	八工区住宅1号支線	不明	6.5	14.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
59	20047-00	宮園橋	宮園線	不明	2.9	3.8	R C 橋	その他	西彼杵郡時津町左底郷
60	20048-00	狩底橋	狩底線	1990	4.2	6.5	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町左底郷
61	20049-00	第2狩底橋	第2狩底線	1993	2.3	5.9	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町左底郷
62	20050-00	第5宮園橋 (上流側)	第5宮園線	不明	4.0	3.1	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町左底郷
63	20050-01	第5宮園橋 (下流側)	第5宮園線	不明	6.4	3.8	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町左底郷
64	20051-00	床板橋	中央24号線	不明	3.5	12.0	P C 橋	ブレン床版	西彼杵郡時津町浦郷
65	20052-00	中央21号橋	中央21号線	不明	4.0	6.6	P C 橋	ブレン床版	西彼杵郡時津町浦郷
66	20053-00	中央22号橋	中央22号線	不明	3.5	8.9	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町浦郷
67	20054-00	柳原橋	下野田線	1985	5.0	5.6	P C 橋	ブレン床版	西彼杵郡時津町野田郷
68	20055-00	開田橋	開田線	不明	9.9	5.2	R C 橋	中実床版	西彼杵郡時津町元村郷
69	20057-00	福島橋	長田線	1980	7.2	5.6	P C 橋	ブレン床版	西彼杵郡時津町浜田郷
70	20058-00	前田橋	第2浜田西時津線	不明	7.5	7.2	P C 橋	その他 (桁橋)	西彼杵郡時津町浜田郷
71	20059-00	吉原橋	西時津左底2号線	1990	13.8	12.8	P C 橋	ブレン中空床版	西彼杵郡時津町浜田郷
72	20060-00	札の元橋	小島田線	1985	4.6	8.2	P C 橋	ブレン床版	西彼杵郡時津町浜田郷
73	20061-00	第3狩底橋	左底野田線	1993	2.3	6.5	R C 橋	その他	西彼杵郡時津町左底郷
74	20062-00	十工区7号橋	十工区海岸線	不明	3.5	28.2	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
75	20063-00	十工区1号橋	十工区1号支線	不明	3.5	14.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
76	20064-00	十工区2号橋	十工区2号支線	不明	3.4	16.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
77	20065-00	十工区3号橋	十工区1号支線	不明	3.2	14.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
78	20066-00	十工区4号橋	十工区1号支線	不明	4.7	14.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
79	20067-00	第4木場崎橋	第4木場崎線	2015	2.4	7.0	R C 橋	その他	西彼杵郡時津町日並郷
80	20068-00	室園橋	子々川日並線	不明	4.2	7.6	R C 橋	その他	西彼杵郡時津町子々川郷
81	20069-00	十工区8号橋	十工区団地線	2017	3.5	17.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
82	20070-00	十工区9号橋	十工区団地線	2017	3.5	11.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
83	20071-00	十工区10号橋	十工区団地線	2017	3.5	10.5	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
84	20072-00	十工区11号橋	十工区団地線	2017	3.5	11.4	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
85	20073-00	十工区12号橋	十工区団地線	2017	2.4	11.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
86	20074-00	十工区13号橋	十工区海岸線	2017	3.5	11.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
87	20075-00	ひなみ野団地橋	ひなみ野団地線	2017	2.6	9.5	R C 橋	その他	西彼杵郡時津町日並郷
88	20076-00	十工区14号橋	十工区第2団地線	2018	3.5	10.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
89	20077-00	十工区15号橋	十工区第2団地線	2018	3.5	12.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
90	20078-00	十工区16号橋	十工区第2団地線	2018	3.5	12.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
91	20079-00	十工区17号橋	十工区第2団地線	2019	3.5	12.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町元村郷
92	20080-00	十工区18号橋	十工区第2団地線	2019	3.5	19.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
93	20081-00	十工区19号橋	十工区第2団地線	2021	5.0	11.0	R C 橋	その他 (R C 床版)	西彼杵郡時津町日並郷
94	20082-00	令和中野田橋	西時津左底1号線	2022	7.1	12.8	R C 橋	その他	西彼杵郡時津町野田郷

（３）架設年次分布

時津町が管理する全 94 橋（構造区分数）の内、架設年次が判明している橋梁は 43 橋です。その内、高度経済成長期以降に全体の 95%である 41 橋が建設されており、建設後 50 年以上経過する橋梁は 2 橋（5%）です。

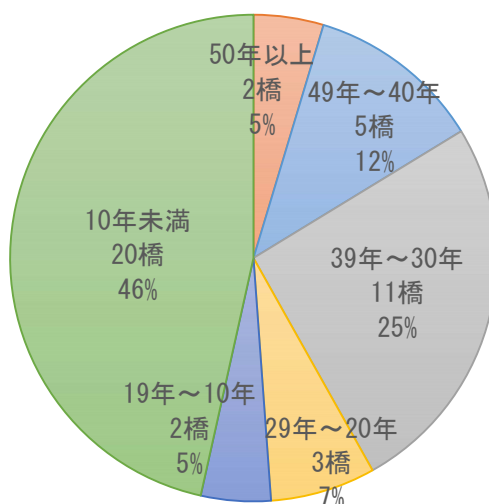
架設年次が判明していない橋梁が多い状況を踏まえると、今後これらの橋梁の高齢化が一斉に進み、集中的に多額の修繕あるいは架替え費用が必要となることが懸念されます。



（４）橋梁の年齢構成

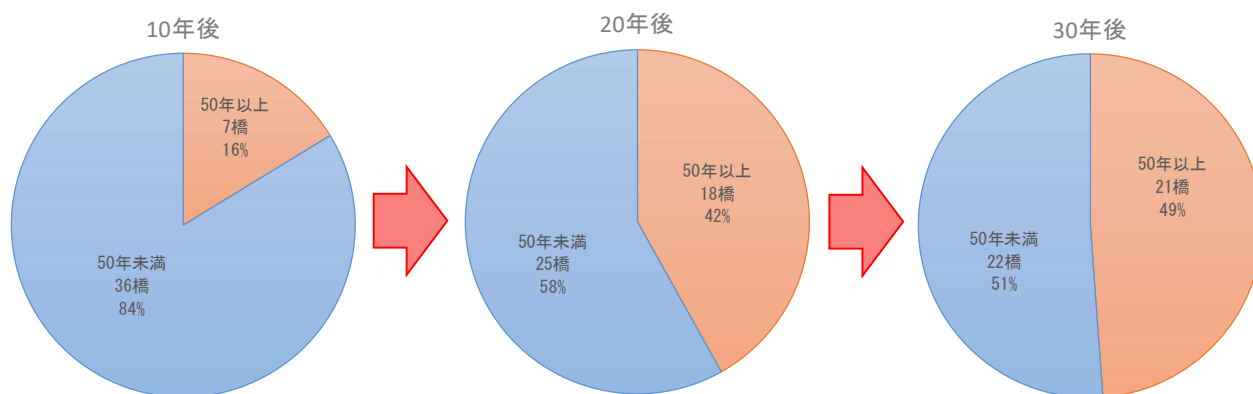
時津町における管理橋梁の内、建設後 50 年以上を経過した橋梁数の割合は、現在の 5%から 20 年後には 42%、30 年後には 49%まで急激に増加します。

年齢別の橋梁割合
（令和6年度現在）



※構造区分数（94 橋）で計上
※架設年次不明橋 51 橋除く

建設後 50 年以上の橋梁数の増加



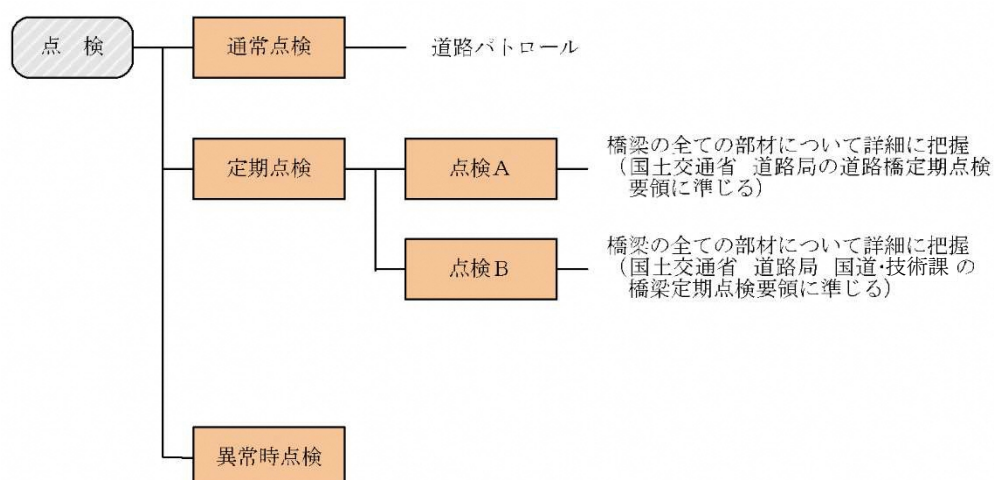
2-3. 橋梁の維持管理

(1) 維持管理に関する基本方針

通常点検（道路パトロール）、定期点検（点検 A・点検 B）、異常時点検により、橋梁の健全性を確認します。

※点検 A：道路橋定期点検要領（国土交通省 道路局）に準じた点検であり、5 年に 1 回の実施を基本とする。

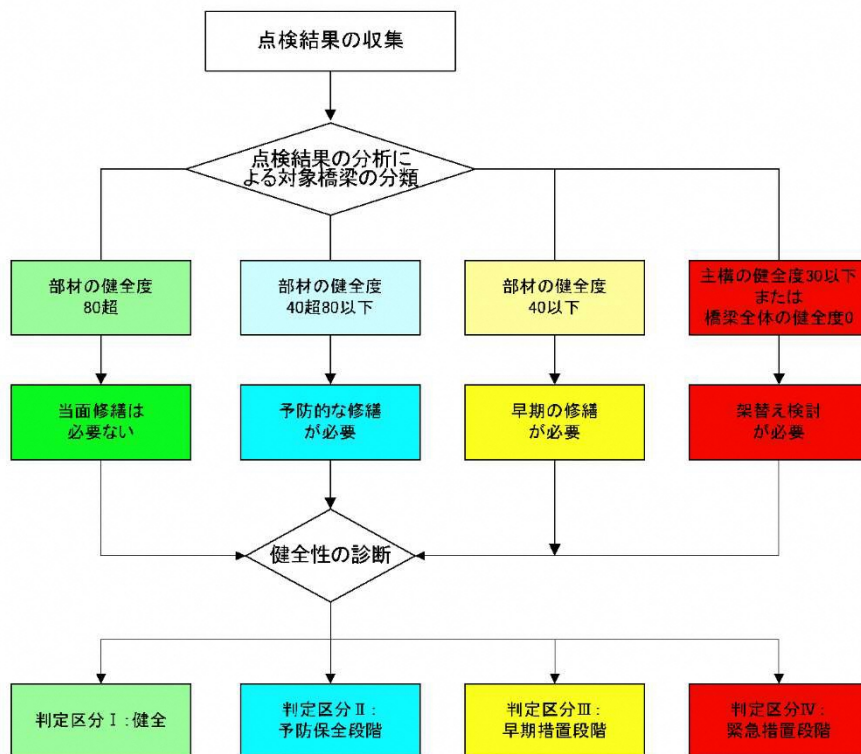
※点検 B：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課）に準じた点検であり、主に補修工事実施前に実施する。



（２）管理橋梁の健全性

平成 26 年度より 5 年に 1 回の定期点検（近接目視点検）が義務化され、令和 5 年度で 2 巡目の定期点検が完了しています。

定期点検の健全性については、点検者からの報告を受けて、最終的には道路管理者による判断で決定しています。



時津町において 2 巡目の定期点検結果を受けて判定された全 87 橋の判定区分は以下の通りです。
なお、判定区分Ⅲの 2 橋については、県の河川事業にて架替予定です。

今後も、橋梁の健全性を良好な状態に保つことができるよう、適切な維持管理を継続して実施します。

判定区分	I	II	III	IV	未実施	計
橋梁数	46	38	2	0	1	87

※未実施の 1 橋は令和 5 年度、新規で追加された橋梁である。

道路橋毎の健全性の診断を行う上での判定区分

区分		状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準） P. 4

令和 6 年 3 月 国土交通省 道路局

3. 橋梁長寿命化修繕計画

3-1. 策定方針

- 計画は時津町が管理する全ての橋梁 87 橋について策定し、適切な時期に修繕を行う予防保全型の橋梁管理へ転換することにより橋梁の長寿命化を図ります。
- 橋梁長寿命化修繕計画は、定期点検を計画的に実施し、必要に応じて見直しを行います。
- 対策の優先順位については、橋梁の判定区分、健全度に加えて、路線の交通量や利用状況等の特徴や立地条件、利用者・周辺住民に対する影響等を考慮し、総合的に判断し、決定します。
- 補修については、早期に修繕が必要な橋梁優先着手し、その後は対策の優先順位が高い橋梁から順次着手していきます。
- 今後の維持管理コスト縮減や利用者の安全・安心の確保のため、管理する橋梁の架橋位置や利用状況並びに将来的な道路整備計画等を基に適切な「集約・撤去」を検討します。
- 今後のより良い維持管理に向けて、点検作業における安全性・効率化・高精度化が見込まれる橋梁については「新技術活用」を検討します。
- 「集約化・撤去」、「新技術活用」により、維持管理コスト縮減を図ります。

3-2. 予防保全の取り組み

(1) 取り組み方針

時津町が管理する橋梁の維持管理を行うに際し、以下の方針の基、予防保全型の維持管理に取り組みます。

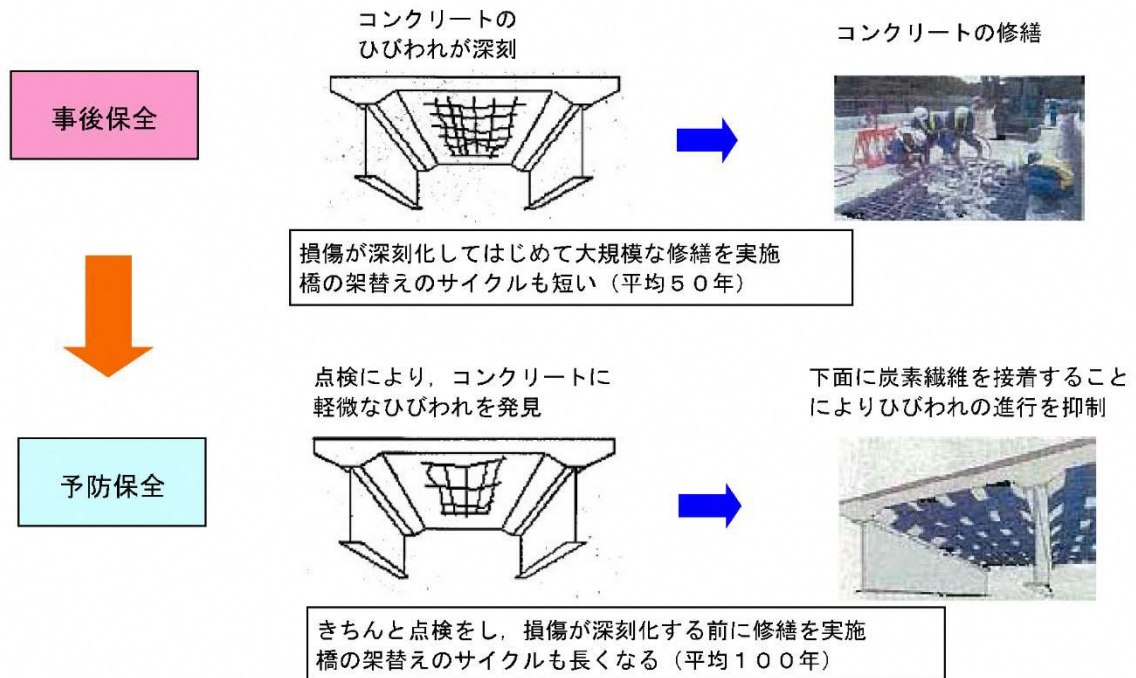
- 大切な資産である道路ストックを長く大事に保全します。
- 安全・安心な道路交通網を確保します。
- 維持管理コストの縮減を図ります。

定期的な点検の実施

- 5年に1度の定期点検によって、損傷を早期に発見します。
- 橋梁の劣化や損傷による事故をなくします。
- 早期対策を実施することで、橋梁を長寿命化させます。
- 架替えや大規模な修繕に至らないように適切に管理します。

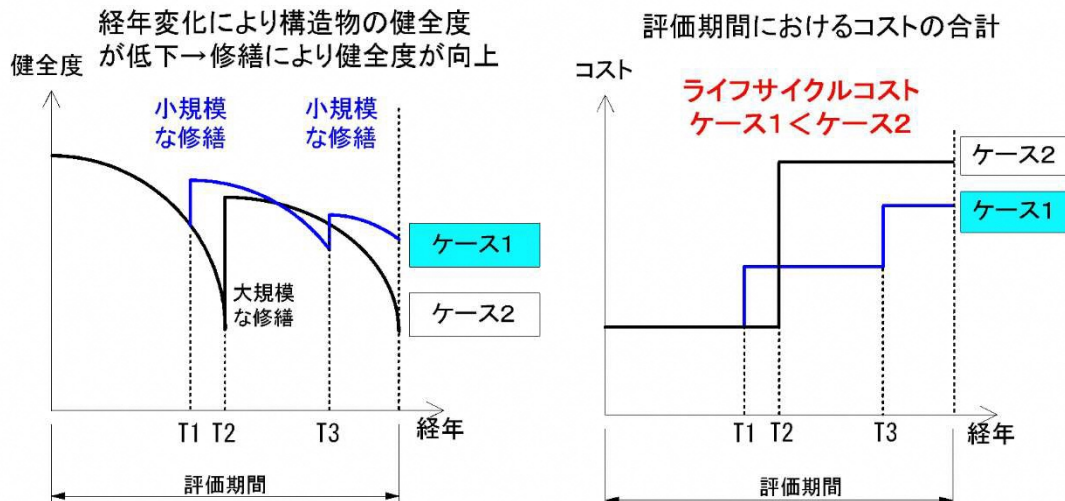
（２）予防保全による効果

計画的な定期点検によって、損傷を早期に発見することで、損傷が深刻化する前に修繕を実施し、橋梁の健全性が高い状態を保ちます。



（３）ライフサイクルコスト削減の修繕シナリオ

従来から実施されている事後保全型の修繕から予防保全型の修繕への転換を図るため、損傷が深刻化する前に修繕を実施することで、維持管理費用を抑制することが可能となる。



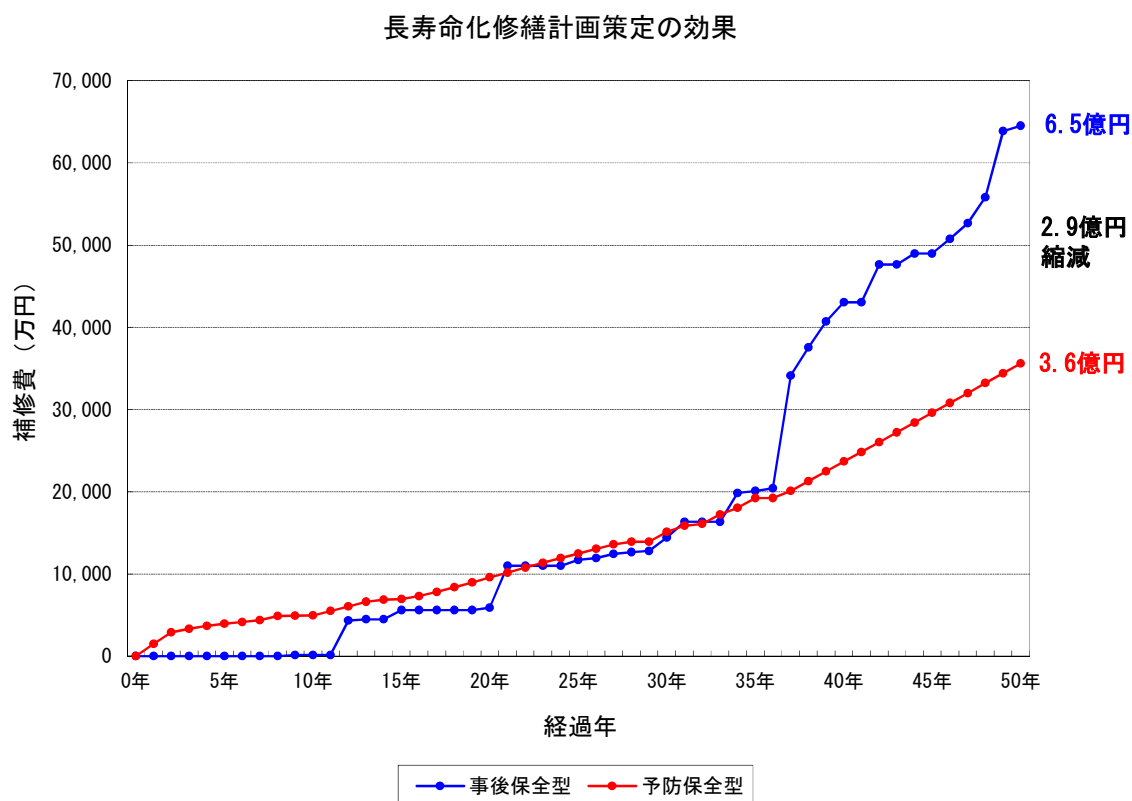
ケース 1：予防保全型の修繕（損傷が深刻化する前に修繕を実施）

ケース 2：事後保全型の修繕（損傷が深刻化してはじめて大規模な修繕を実施）

3-3. 橋梁長寿命化修繕計画のコスト削減効果

事後保全型の修繕から予防保全型の修繕に転換することにより、少ない対策費用で橋梁の長寿命化を図ることができます。また、大規模な修繕や架替えが及ぼす道路交通への社会的・経済的損失を回避するなど道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することができます。

策定した修繕計画の実施により、事後保全型の修繕を行った場合と比較すると、50年間で約2.9億円のコスト削減が見込めます。



事後保全型：部材健全度 HI=20以下で補修、予防保全型：最適投資案

コスト削減効果の比較

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| ①事後保全型の事業費（部材健全度 HI=20 以下で補修を行う） | 50 年間総補修費： 6.5 億円 |
| ②予防保全型の事業費（最適投資案に従って補修を行う） | 50 年間総補修費： 3.6 億円 |
| ③コスト削減効果 | $6.5 - 3.6 = 2.9$ 億円 |

3-4. 今後の維持管理計画

(1) 点検・修繕計画

策定した修繕計画で算出した投資予算に応じて、今後の維持管理計画を行います。判定区分Ⅲの2橋については、県の河川事業にて架替予定です。

今後は判定区分Ⅱに該当する橋梁について、対策優先度に応じて対応方針を設定し、順次対策を実施する計画とします。

定期点検については、5年以内のサイクルを遵守しつつ、平準化を図ります。

なお、点検・修繕計画は3巡目点検の結果により、随時見直しを行います。

今後の点検・修繕計画

	単位	計画年度										合計
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
修繕橋梁数	数	0	2	2	1	1	1	1	1	1	0	10
修繕費	万円	81	607	2166	2371	2570	758	3134	646	77	0	12410
設計橋梁数	数	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4
設計費	万円	0	0	488	403	431	431	0	0	0	0	1753
点検橋梁数	数	15	19	18	18	17	15	19	18	18	17	174
点検費	万円	334	468	352	370	351	334	468	352	370	351	3750
維持管理費計	万円	415	1075	3006	3144	3352	1523	3602	998	447	351	17913

(2) 集約化・撤去

利用者の安全・安心の確保および維持管理コスト縮減のため、管理する橋梁の架橋位置や利用状況並びに将来的な道路整備計画等を基に適切な「集約・撤去」を実行します。

令和11年度までに、管理する橋梁のうち2橋程度について、撤去計画の検討を行い、地域住民の合意形成を図った上で実行に繋げ、定期点検1巡あたり約50万円の定期点検費用縮減を目指します。

(3) 新技術等の活用

今後のより良い維持管理に向けて、点検の効率化・高度化が見込まれる橋梁については、新技術活用の検討を行います。

2 巡目の定期点検で橋梁点検車等を使用した 6 橋の内、交差条件や点検結果、橋梁の規模等を基に、効果が高いと判断される 3 橋程度について、点検支援に関する新技術を積極的に活用することで、費用縮減や事業の効率化に取り組む方針とします。

以下に対象橋梁への適用が可能と考えられる新技術を示します。

技術番号		NETIS 登録番号	技術名
BR010018-V0524		QS-170024-VR	橋梁点検支援ロボット (見る診る・スタンダード・ハイグレード・mini)
BR010013-V0424		KT-130046-V	高精細画像による橋梁下面や主塔のクラック自動抽出システム
BR010024-V0424		KT-190025-VR	社会インフラ画像診断サービス「ひびみつけ」
BR010015-V0524		CB-220017-A	非 GNSS 環境対応型ドローンやポールカメラを用いた近接目視点検支援技術
BR010029-V0324		-	非 GNSS 環境型 UAV を用いた橋梁点検支援システム
BR010071-V0024		-	Matrice300RTK (ドローン) を用いた橋梁点検支援技術「ひび検 Fly」

BR010024-V0424 : 本計画における対象技術

上記技術の活用により、橋梁点検 5 年間（点検 1 巡）で、**対象橋梁 3 橋における点検費用の約 50 万円縮減**を目指します。

(4) 費用縮減

橋梁の集約化・撤去および新技術の活用により、今後 10 年間に於いて約 200 万円の費用を縮減することを目指します。

また、上記に加え、修繕工事における費用縮減を図るため、設計時においては、新工法や新材料などの新技術等の活用も検討を行う方針とします。